

加工食品の返品実態調査を基にした 納品期限切れによる食品ロス発生量の分析

令和6年12月

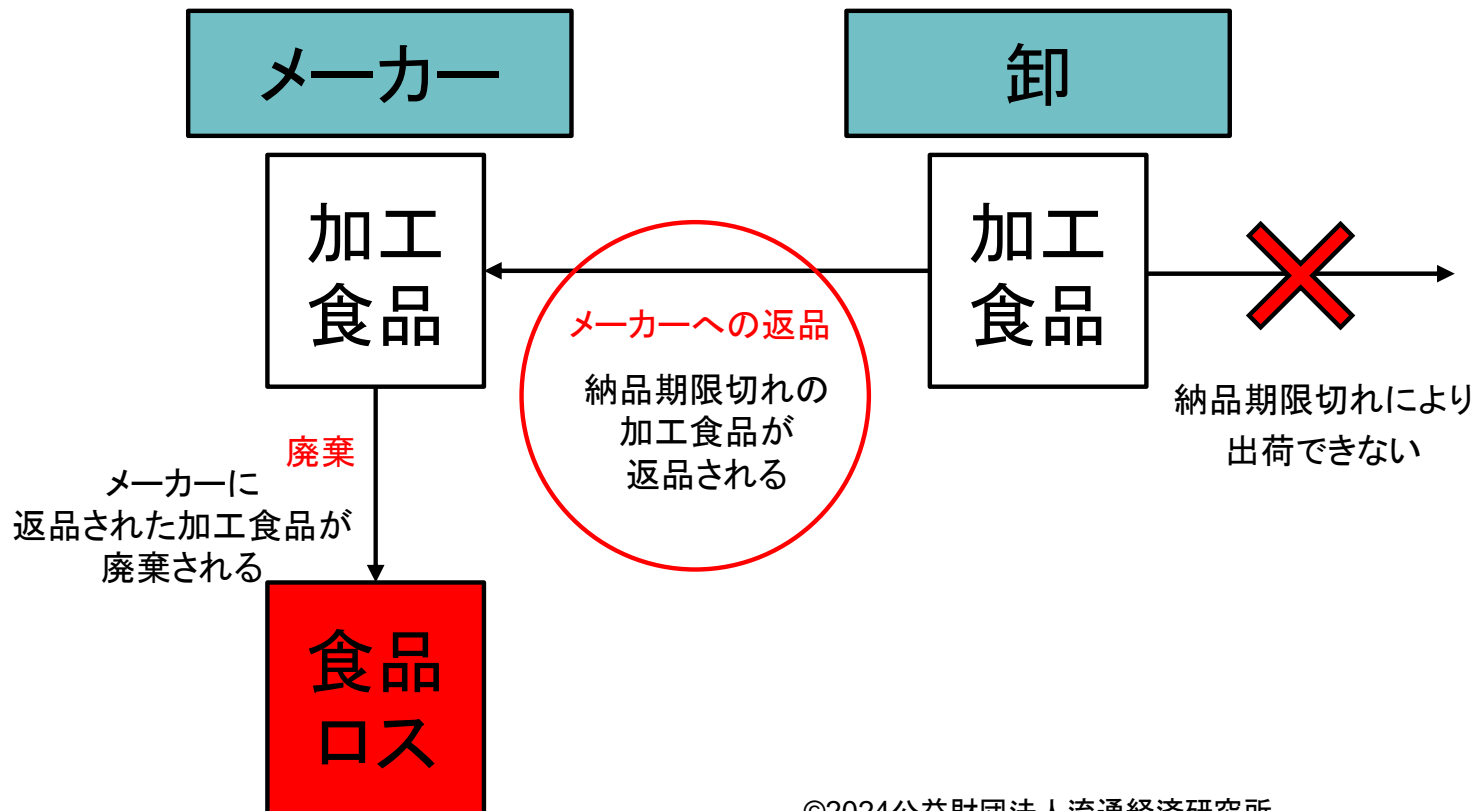
公益財団法人流通経済研究所

0.はじめに

納品期限切れによる食品ロス発生 の構図

■ 本分析の考え方

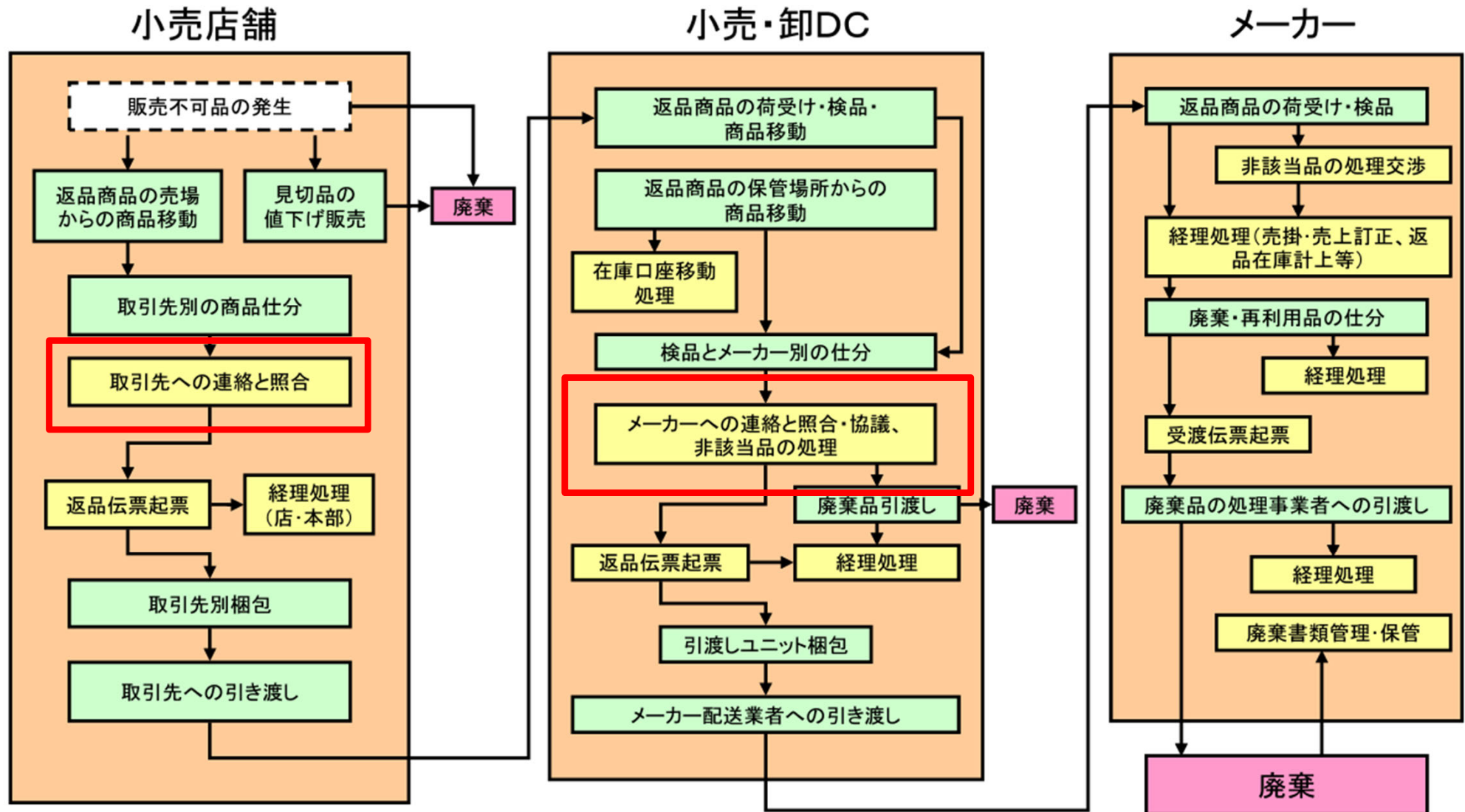
- 納品期限切れの多くは、小売業に対し、納品期限を超過した加工食品が納品できないことによって発生する。納品できなかった加工食品は、卸売業からメーカーに返品される。メーカーでは、返品された加工食品の多くが再販売の機会を持たないまま廃棄されることが一般的である。
- そこで、製・配・販連携協議会の返品実態報告におけるメーカーへの返品実績を基に、納品期限切れによる食品ロス発生量の分析を実施する。



(参考)

一般的な返品処理のフロー

- 返品処理には多大な手間・時間が必要であり、返品商品の多くは廃棄される
- 返品の前取引先への連絡や協議が行われる



1.調査概要

(1)調査対象

■ 調査名

－ 製・配・販連携協議会 返品実態報告

■ 調査対象カテゴリー

加工食品・飲料・酒類等のドライ商品

■ 調査協力企業

－ 2023年度の「加工食品の返品実態調査」協力企業は、以下の卸売業6社である。

- 卸売業(6社)

伊藤忠食品、加藤産業、国分グループ本社、日本アクセス、三井食品、三菱食品

1.調査概要

(参考)調査協力企業の市場カバー率

- 本調査への回答協力企業が、業界全体のうちどのくらいの取引量をカバーしているかを「市場カバー率」で示す。
- 調査に協力した卸売業・小売業の加工食品における「市場カバー率」は下表の通りである。

調査協力企業の市場カバー率

	加工食品
卸売業調査	29.3% (回答企業6社)

(注1)市場カバー率は以下方法で算出した。

卸売業調査:卸売業各社の小売業への売上高(売価)÷卸売業・小売業間の業界全体の取引規模(注2)

(注2)業界全体の取引規模は別途推計した。

推計方法は後述「4.加工食品の業界全体の返品額推計 (1)推計方法」に記載した。

1.調査概要

(2)調査項目の説明及び留意点

■ 調査項目

－ 卸売業調査

- ・ メーカーからの仕入高
- ・ メーカーへの返品額(原価)
- ・ メーカーへの返品理由

■ 返品率

－ 返品率は以下の計算で算出した。

- ・ 「卸売業→メーカー」の返品率＝メーカーへの返品額(原価)÷メーカーからの仕入高

2.返品率及び返品処理経費率

- 卸売業調査結果
 - － 「卸売業→メーカー」の返品率:0.28% 低下

加工食品の返品率及び返品処理経費率

		加工食品														
		卸売業調査														
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度
返品率	卸売業→メーカー	0.28%	0.31%	0.31%	0.39%	0.45%	0.44%	0.47%	0.56%	0.60%	0.65%	0.81%	0.87%	0.97%	1.12%	1.88%

(注1) 年度によって集計対象企業が一部異なるため、年度間の比較には注意を要する。
(注2) 加工食品・飲料・酒類等のドライ商品が対象。チルド、フローゼン、日配、生鮮は集計対象外。

3.返品が発生理由―卸売業調査

■ メーカーへの返品理由

―「納品期限切れ」は16.5%である。

加工食品の返品理由別構成比(卸売業調査)

		加工食品														
		卸売業調査														
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度
小売業からの返品理由	①閉店・改装	3.5%	3.4%	3.4%	3.8%	4.5%	4.4%	5.4%	3.3%	4.2%	6.2%	5.6%	6.4%	5.1%	6.2%	4.5%
	②年2回の棚替え・季節品	12.4%	13.1%	8.3%	13.0%	10.6%	12.6%	11.7%	11.7%	7.5%	8.0%	6.3%	9.1%	8.5%	9.4%	6.9%
	③特売残	20.5%	19.5%	18.5%	16.8%	17.7%	20.6%	21.6%	20.3%	26.1%	18.5%	19.3%	16.9%	16.5%	14.7%	16.6%
	④定番カット(随時の商品改廃)	24.9%	23.8%	24.4%	23.2%	21.8%	25.8%	25.2%	22.5%	25.8%	24.4%	19.8%	14.7%	16.1%	15.1%	13.8%
	⑤販売期限切れ	18.0%	18.4%	19.3%	16.8%	18.0%	17.9%	17.2%	16.9%	19.8%	19.1%	23.0%	19.2%	23.0%	17.2%	13.5%
	⑥汚破損	7.5%	7.4%	9.8%	8.9%	10.3%	8.1%	8.8%	14.6%	9.7%	13.2%	14.5%	15.7%	20.9%	28.9%	41.5%
	⑦その他(メーカー起因等)	13.2%	14.4%	16.3%	17.5%	17.1%	10.6%	10.1%	10.7%	6.9%	10.5%	11.5%	17.9%	9.9%	8.6%	3.2%
メーカーへの返品理由	①納品期限切れ	16.5%	18.6%	17.9%	16.6%	16.0%	15.8%	15.9%	17.8%	17.5%	20.3%	28.6%	37.3%	32.0%	33.7%	39.0%
	②庫内破損	1.8%	1.8%	3.0%	1.7%	2.0%	1.7%	1.7%	3.0%	1.9%	1.9%	2.1%	1.8%	3.5%	2.2%	2.7%
	③特売残	9.5%	10.0%	8.2%	9.7%	10.1%	10.9%	11.6%	10.0%	10.3%	7.3%	9.1%	8.0%	7.4%	6.4%	7.9%
	④年2回の棚替え・季節品	16.5%	16.0%	12.5%	14.4%	14.6%	14.9%	14.6%	14.5%	14.8%	13.0%	12.3%	11.9%	10.8%	7.9%	7.8%
	⑤定番カット(随時の商品改廃)	37.4%	36.2%	33.3%	39.8%	40.3%	39.8%	40.1%	36.7%	36.1%	44.3%	34.0%	28.9%	32.8%	33.8%	28.7%
	⑥その他(メーカー起因等)	18.2%	17.4%	25.1%	17.9%	17.1%	16.9%	16.1%	18.0%	19.4%	13.1%	13.8%	12.0%	13.6%	16.0%	13.8%

(注1) 年度によって集計対象企業が一部異なるため、年度間の比較には注意を要する。

(注2) 加工食品・飲料・酒類等のドライ商品が対象。チルド、フローズン、日配、生鮮は集計対象外。

4.加工食品の業界全体の返品額推計

(1) 推計方法

■ 加工食品の業界全体の返品額推計方法

- － 「卸売業→メーカー」の返品額 = 卸・メーカー間の取引規模 × 返品率
- － 「小売業→卸売業」の返品額 = 卸・小売間の取引規模 × 返品率

■ 取引規模の推計方法(2022年度)

- ① 経済産業省『平成19年商業統計表品目編』を使って、卸売業産業分類(3桁)「512食料飲料卸売業」の構成産業分類(4桁)毎に、以下品目の年間商品販売額を集計し、加工食品の卸売額とした。

【該当品目】

砂糖卸売、味噌・しょう油卸売、酒類卸売、乾物卸売、缶詰・瓶詰食品卸売(気密容器入りのもの)、飲料卸売(茶類飲料を含む)、茶類卸売、他の食料・飲料卸売

- ② 上記①から小売業向け卸売額のみを取り出すため、上記①にパラメータを乗じた。パラメータには、「512食料飲料卸売業」の構成産業分類(4桁)毎に算出した小売業向け販売ウェイト(小売業への商品販売額÷総商品販売額)を用いた。
- ③ 産業分類(4桁)毎に得られた上記②を合計し「小売業向け卸売取引規模」とした。

4.加工食品の業界全体の返品額推計

(1) 推計方法

■ 取引規模の推計方法(2022年度)

- ④ 前記③は2006年度実績のため、パラメータを乗じ2022年度数値を推計した。
なお、パラメータには、経済産業省『商業動態統計』の「食料・飲料卸売業の2020年4月～2021年3月販売金額合計」の「2006年4月～2007年3月販売金額合計」に対する比率を用いた。
- ⑤ 前記①～④の結果、「2021年4月～2022年3月における加工食品・飲料・酒類の小売業向け取引規模(卸売業売価ベース)」が求まるが、この数値は商業統計から推計しているため消費税を含んでいるため、「1+消費税率」で除して消費税課税前の小売業向け取引規模(卸売業売価ベース)とした。
- ⑥ 卸売業粗利率を10%と仮定し、上記⑤に0.9を乗じた金額を、卸・メーカー間の取引規模(卸売業原価ベース)とした。

■ 返品率は本調査の「卸売業調査結果」を用いた(2022年度)。

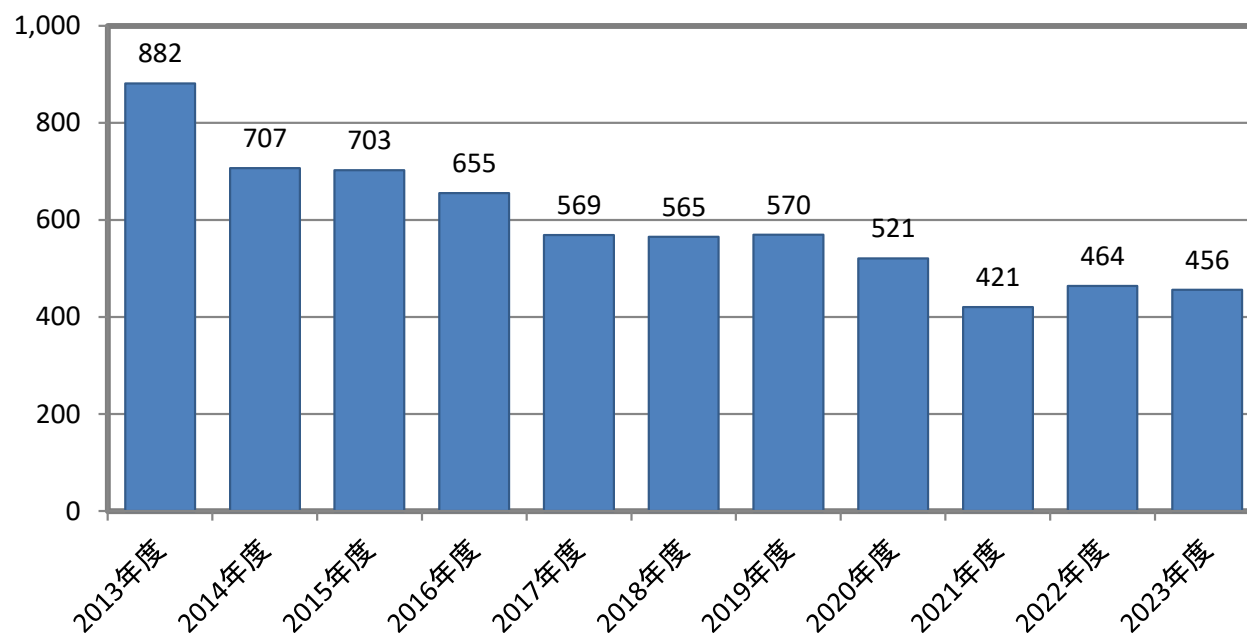
「卸売業→メーカー」の返品率:0.31% 「小売業→卸売業」の返品率:0.10%

4.加工食品の業界全体の返品額推計

(2) 推計結果

- 業界全体の「卸売業→メーカー」の返品額を推計した。
- 2023年度の業界全体の返品額は456億円と推計される。

加工食品の業界全体の返品額推計
(卸売業→メーカー、2013年度～2023年度、億円)



5.加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額の推計

(1)推計方法

■ 加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額推計方法＝

卸・メーカー間の取引規模 × 返品率 ×
メーカーへの返品理由（納品期限切れ）

5.加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額の推計

(2) 推計結果

- 加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額を推計した。
- 2023年度の加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額は75億円と推計される。
- 加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額は減少傾向にあり、2013年度と比べて178億円減少している。

加工食品の業界全体の納品期限切れによる返品額推計
(卸売業→メーカー、2013年度～2023年度、億円)

